

令和3年度 第2回 ぶんきょう歌壇・俳壇 作品発表

歌壇

寺尾 登志子 選

特選

黒雲の下アガパンサスはみ空色地上三尺に空つくりをり

本駒込 岡本 千晶

糞受けの傘吊るされて駐車場チュチュと鳴いてる燕の子かな

小石川 中野千鶴子

大当たりしししとう食みし夫の顔少し華やぎアラ還夕餉

小日向 荒井 範子

入選

シヤリシヤリと音たて青き葉を食すユズボウの口に柚子のかおり

千 石 菊地 正矩

散歩亀道路は危険抱き上げて社の池の家族のもとへ

千駄木 上杉紀世子

囀りの仲間に入らば楽しからむ特に明るいソプラノ調は

小日向 内野 仙也

何食べる自肅くで同じ物青空見上げ吸い込まれて来

白 山 長濱 晴子

頬寄せて首につかまり覗き込むスマホがくれた孫との時間

関 口 中川 良二

飛石に両手をついて今日は雨ふる庭のわが家の蛙

千駄木 石井 禮子

ふるさとは兄逝きし時消えにけりりんごも桃ももう届かない

水 道 高木 マリ

俳壇

佐怒賀 正美 選

特選

炎昼の銀の輝き消火栓

千石 菊地 正矩

防人や脚下げて飛ぶ甲虫

本郷 町田 菊男

碇星添寝いつしかあかときに

本駒込 横塚 敏子

入選

太藺足し生花のみな生き生きと

千駄木 前崎 正三

鼈甲の眼鏡ためらう夏の浜

向丘 丸岡 正児

幸不幸織り交ぜながら夏芝居

大塚 奥山 興悦

カウンターテナーの黒き日傘かな

千駄木 仲 綾子

深呼吸心に万緑のかけら

後楽 高島 弘子

生涯をかけて今日ある文化の日

千石 大石 坦

若竹を見上げる先の超高層

小石川 福富 貞子